

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
PC各種アプリケーションの活用方法や社会人としての人間カスキルをオンデマンド授業を通して学ぶ						
到達目標						
授業内でのPC作業や卒業後も応用できるPCテクニック、社会人としての人間力を身につける						
授業計画・内容						
【前期】 1～7回目	コンピュータ内部の理解／時間の使い方／タスク管理方法について／相手の心を掴むプレゼンテーション術／伝わるプレゼンの作り方／Google スライドだからできるワンランク上のプレゼン／Canva AIで手軽に資料作成					
【前期】 8～11回目	プロジェクトマネジャーの基本／Googleスプレッドシートで進捗管理する方法／Googleスプレッドシートでプロジェクト管理／Googleスプレッドシート基礎トレ-全自動カレンダー 編-					
【前期】 12～15回目	能動的に人生と仕事を動かす「タスク管理」／うまく回る「情報共有の仕組み」づくり 新入社員向けExcel術一表の見せ方＆計算チェッカー／最速のExcel術					
【後期】 16～24回目	“伝わる文章“の基本／簡潔なメール文への添削／ビジネスメールの書き方／「わかってるな」と思われる報連のしかた／Wordによる文書作成の基礎・知っておくべき段落書式・スタイル機能の基礎					
【後期】 25～31回目	議事録係の準備について／議事メモを制する者は会議を制す／議事メモから“シゴデキ議事録”へ／自分もチームも変える3つの視点／情報の収集・集計・分析をGoogle フォーム × Google スプレッドシートで自動化／瞬時に共有できるGoogle Keepでビジネスを加速しよう／Google サイで情報をひとまとめにして共有					
【後期】 32～38回目	「可愛がられる」は才能ではなくスキルである／大きな桁の掛け算・割り算のコツ／秒で完成-パワポスライド作成-/なぜ、私たちはPowerPoint資料を作るのか／名刺で学ぶCanvaとデザインの基本／Canvaプレゼンテーション活用術／アイデアを形にする企画整理					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	キャリア講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	キャリア講座	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	企画制作コース/アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	国際線客室乗務員・国内線客室乗務員として乗務。退職後はブライダル業界でマリッジコンサルタントとしての経験を積む。現在はチーフマネーインストラクターを務め、医療機関や介護・福祉施設、幼稚園・保育園、アパレル関連、IT関連企業など、幅広く研修を担当。グローバルマナースクールでも多くの講座を担当し、教材作成にも携わる。					
授業概要						
・講義と実践ワーク、更にロールプレイングを通して、ビジネスマナーを体得する。 ・授業ごとに、言葉遣いの確認、小テストを実施し、習得度を確認。 ・応募先にむけた自己PR、志望動機作成、面接対応実施。履歴書・ES作成指導。						
到達目標						
・基礎的なビジネスマナーについて、[知っている]から[できる]さらに[いつもできている]を目指す。 ・信頼感を伝えるために、「スキル」と「人格」の両輪を育てる。 ・自己理解を深め、アピールできる自分の強みを知り、将来のキャリアが描けるようになる。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	オリエンテーション/基本動作の確認/プレゼンテーションスキル向上					
【前期】 5～8回目	面接対応/自己理解① 興味と価値観/自己理解② 強み分析/企業で働くとは					
【前期】 9～12回目	コミュニケーションの応用/説明力向上/業界研究と志望動機					
【前期】 13～19回目	キャリア理論① クランボルツ/キャリア理論② ジェラット/トラブル対応力/就職活動シュミレーション					
【後期】 20～24回目	芸能業界で生き抜くためのキャリアビジョン/ビジネス文書の作成法					
【後期】 24～29回目	社内業務（指示の受け方/報告連絡相談)/社内業務（仕事の目的を考える）					
【後期】 29～33回目	会話術アップ/ロールプレイング					
【後期】 34～37回目	食事のマナー/メンタルヘルス					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	デジタルマーケティング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	デジタルマーケティング	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	企画制作コース/アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大学卒業後、アパレル業界にて販売業務に従事。接客・販売業務に加え、店舗でのブランド PR に携わる。 2022 年 12 月~現在 SNSマーケティング会社の取締役役に就任。企業向けの SNS マーケティング支援事業を担当し、Instagram・TikTok などを中心としたSNS 運用支援、戦略設計、コンサルティングを行う。					
授業概要						
エンターテインメント業界に求められるデジタルスキル獲得を目的とする授業。YouTube、Twitterなど各SNSを基礎から学び、バズ・炎上を理解して戦略的なSNS運用ができるようデジタルマーケティング・配信・企画のプレゼンテーションを学修する。						
到達目標						
インフルエンサーレベルでのSNSの戦略的なノウハウやデジタルマーケティングスキルを身に着け、SNSをビジネスの場で活用できる人材。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	SNS: SNSの基礎知識 目的 SNS: YouTube YouTube基礎(理解、運用方法、バズ観点)					
【前期】 5～8回目	SNS: Twitter Twitter基礎(理解、運用方法、バズ観点) SNS: Instagram Instagram基礎(理解、運用方法、バズ観点)					
【前期】 9～12回目	SNS: Tik Tok Tik Tok基礎(理解、運用方法、バズ観点) SNS: 炎上 & 誹謗中傷理解 対策検討(グループワーク)					
【前期】 13～19回目	デジタルマーケティング: デジタルマーケティングの基礎知識 デジタルマーケティング: ペルソナ分析、TAPS分析					
【後期】 20～24回目	デジタルマーケティング: 3C分析 デジタルマーケティング: マンダラチャート分析					
【後期】 24～29回目	デジタル配信: 音声配信(各サービス、運用方法、コツ) デジタル配信: ライブ映像配信(各サービス、運用方法、コツ)					
【後期】 29～33回目	ビジネススキル: ロジカルシンキング、プレゼンテーション デジタルマーケティング: カスタマージャーニーマップ分析					
【後期】 34～37回目	デジタルマーケティング: USP、SWOT分析、STP分析、自己分析 デジタルマーケティング: マーケティングフレームワーク分析					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタメビジネス講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	エンタメビジネス講座	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	2001年に株式会社ドワンゴへ入社。部長職を経験後、音楽レーベル子会社へ転籍、プロデューサー職へ。ボーカロイドをはじめとするニコニココンテンツや声優・ラジオコンテンツのCDパッケージを数多く担当。現在はフリーランスとして、ネットやアプリの配信番組も多く担当、その他、動画の撮影編集、SNSを含めた運営及び運用、専門学校講師等に従事。					
授業概要						
・音楽だけではない、エンタメビジネス業界全体の全体像や動きを学ぶ ・移り変わりの激しいエンタメ業界の今を知り、その波をしっかりと掴める思考を養う						
到達目標						
エンタメビジネス業界の全容をしっかりと学び、企画～実行～拡散といった流れを自ら生み出す思考を持つ。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	エンタメビジネスの今と昔					
【前期】 5～8回目	【全体像】音楽レーベル、音楽出版社、マネジメント、プロダクション					
【前期】 9～12回目	【全体像】ライブ、イベント、テレビ、ラジオ、配信					
【前期】 13～19回目	エンタメビジネスにおけるSNS					
【後期】 20～24回目	エンターテインメントにおけるプロの裏方とは					
【後期】 24～29回目	権利関係の仕組み					
【後期】 29～33回目	制作費、売上、利益など金銭面の仕組み					
【後期】 34～37回目	プロダクションにおけるマネジメントについて SNS用ショート動画の作成 総括					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	クリエイティブPCⅡ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	クリエイティブPCⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	44回(88単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	企画制作コース/アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	音楽専門学校卒業後、レコード会社で宣伝、制作、マネジメントを経験。担当アーティストが紅白歌合戦出場。その後広告代理店でデザインを学び、当時担当していたアーティストの個人事務所にて、マネジメント、ファンクラブ、グッズデザインなどマネジメント全般を担当。現在はフリーランスのデザイナーとしても活動中。					
授業概要						
PCを使った資料・印刷物作成の技術を中心に、映像の編集などの技術、音声ファイル等のファイルの知識、Web制作など、PC技術について学ぶ。						
到達目標						
Photoshop、Illustratorを使ったフライヤーなどの印刷物の入稿データ作成や映像編集の技術の向上。 Web制作における技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～6回目	Illustrator/Photoshop:1年次の復習 Illustrator/Photoshop:書類や印刷物の作成方法					
【前期】 7～12回目	Illustrator/Photoshop:アーティストフライヤーの作成 Illustrator/Photoshop:CDジャケット案作成					
【前期】 13～18回目	映像制作の知識と操作 音声ファイル等の知識と扱い方					
【前期】 19～24回目	imovie:写真を利用した動画編集／動画編集、音声ファイルの切り出し、書き出し Premiere:基本的な操作／動画編集／書き出し					
【後期】 25～30回目	Web用データ:Web対応の画像の作成およびデザインにおけるの見せ方など					
【後期】 31～35回目	WordPress:UI／使い方／カスタム／プラグインを使ったフォーム作成 WordPress:簡単なサイト作成／テーマ選び／デザイン案／カスタマイズ／完成					
【後期】 36～40回目	Web基礎:WEBと紙の違いについて Web基礎:WEB制作におけるの専門知識					
【後期】 41～44回目	Web制作:サンプルページ完成／illustrator&photoshopでWeb用画像素材の作成					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクション実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	プロダクション実習Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	161回(322単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	企画制作コース/アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネージメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。					
授業概要						
1年次プロダクション実習Ⅰで決定したアーティストの協力の元、学生自身がマネジメント/レコードメーカー/ファンクラブの各セクションに分かれ、年間スケジュール作成/予算作成/スチール撮影/音源制作/MV制作/音源販売(OD・配信)/企画制作運営/広告宣伝等により売り出していく実戦形式の授業。音楽業界で実際に行われている業務を一通り経験することができる。						
到達目標						
アーティストを中心とした、各セクション(マネジメント/レコードメーカー/ファンクラブ)の一連の様々な動きを学ぶ。 また、実際にアーティストを各セクションで担当していく中で、「どうすればそのアーティストの認知度をあげられるか」「円滑に物事を進めていくにはどうすればよいか」等について、実践の中で習得していく。						
授業計画・内容						
【前期】 1～80回目	・年間を通してのスケジュールリング ・年間予算作成 ・アーティストプロデュース会議 ・音源制作(プリプロダクション～レコーディング) ・スチール撮影(アーティスト写真/ジャケット写真) ・企画ライブ制作～運営 ・MV撮影					
【後期】 81～161回目	・音源制作(ミックスダウン～マスタリング) ・音源流通(小売店への展開～配信での展開) ・広告宣伝 ・グッズ制作 ・会報誌制作 ・リリース記念ライブ(レコ発ライブ)制作～運営 ・1年間のまとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各回の授業内容は、学生の立てた年間スケジュールや進捗状況により変動します。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライブ・イベント制作講座		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	ライブ・イベント制作講座	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	9単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	大手レコード会社にて宣伝やアーティスト担当業務に従事。その後、プロダクション業務を経て、現在はフリーランスでマネージメント、プロモーション委託、イベント制作委託を請け負っている。					
授業概要						
マネージャー・レコード会社・ファンクラブといったスタッフがライブイベントを制作するために必要な基礎業務を具体的に学ぶ。						
到達目標						
ライブイベントの運営方法を学び、ライブハウス規模でのイベントを自分たちで企画・運営できる知識と技術を身につける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～9回目	企画会議/セクション分け					
【前期】 10～18回目	舞台進行:ステージセットや演出の有無に関して会議 運営・宣伝:出演者に資料請求の連絡／宣伝プラン会議と製作物の洗い出し及び製作					
【前期】 19～27回目	舞台進行:ステージセットや演出がある場合は入稿×切 運営・宣伝:出演者資料をまとめて各所に連絡／製作物完成及び配布や展開開始					
【前期】 28～37回目	企画制作ライブイベント①					
【後期】 38～46回目	舞台用語					
【後期】 36～55回目	楽器講座					
【後期】 56～64回目	現場の資料について解説:マニュアル全般／タイムテーブル／図面 現場の資料について解説:予算書／経費精算					
【後期】 65～74回目	企画制作ライブイベント② 総括					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ファンクラブプロジェクトⅡ		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	ファンクラブプロジェクトⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	9単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	デザイン学校を卒業後、メディアマーケティング会社に入社。丸井の広告や麒麟ビバレッジの商品デザインロゴを制作。退職後は個人事務所を設立。全日空、日立建機、法務省、明治乳業など数多くの広告 SP 案件を手がける。					
授業概要						
・会報誌やグッズの制作を通じ、自らの好みではなく、「ファンの目線」にたった企画・運営力を養う。 ・ものづくりを企画や管理、広報などを通じて多くの人が関わって完成することを学ぶ。						
到達目標						
アイデアの発掘方法やプレゼンテーション技術、チームマネジメントなどビジネス的に成功に導くための重要なスキルを身につける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～9回目	意図説明／製作進行＆デザイナーの仕事の違い／担当分け					
【前期】 10～18回目	企画進行:どんな企画か／誰のための企画か／意図 企画進行:狙うターゲット／どんな風に見てもらいたいか					
【前期】 19～27回目	製作進行:企画絞り込み＆予算組＆販売計画 デザイナー:表紙、グッズロゴ作成					
【前期】 28～37回目	製作進行:アイテム決定～デザイナーへ発注 デザイナー:グッズデザイン					
【後期】 38～46回目	制作進行:販売計画／予算管理／資料作成 デザイナー:販売POPデザイン					
【後期】 36～55回目	プレゼンテーション準備					
【後期】 56～64回目	プレゼンテーション本番 展開・販売準備					
【後期】 65～74回目	展開・販売 結果振り返り(利益、客層、リアクション、展開など含めた反省点と改善点)					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						